

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 1月 5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2773000688		
法人名	株式会社ライフサポートジャパン		
事業所名	ゆうとぴ庵大阪・淡路		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪市東淀川区東淡路5-8-38		
自己評価作成日	平成24年1月5日	評価結果市町村受理日	平成24年3月13日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp/
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8号-102
訪問調査日	平成24年1月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

現在は休止しておりますが自治会主催で1回／月に開催しておりました「ふれあい喫茶」の参加や、近隣の方によるハーモニカ演奏のボランティア受入、またAED設置や小学校PTAが主催で行っております「こども110番」への登録等…今後も地域の皆様に少しでもご理解して頂け、また愛されるグループホームになる様に色々な事に取り組んで行きたいと考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

住宅地域の中にあり交通の便もよく、買い物にも便利な立地条件にある施設は、地域の自治会に加入し自治会長を通して地域と事業所との連携が持たれている。近隣のボランティアの継続的な来訪や近隣の公民館で開催される催し物、小学校の運動会などは利用者の希望や状態を踏まえてできる限り参加し交流するように取り組んでいる。入居者の高齢化・ADLの低下が見られる中でも周辺の散歩や、気候が良い時期にはテラスでお茶を楽しむ機会を持ち、さらに近隣の図書館や買い物など利用者の希望により個別の外出が楽しめるように支援している。食事を楽しんでいただけるように各フロアで調理を行い、利用者の個別の状況に応じて刻み食、ペースト食などを提供し、安全に美味しく食べてもらえるようにしている。近隣の回転ずしなどで外食を楽しんだり、出前を取ったりと食事が楽しみとなるような取り組みも行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>フロアー会議(最低月1回)等で理念の共有と実践に向けて取り組んでおります。</p>	<p>開設当初から「よりよい介護、感動ある介護」を理念に掲げてケアに活かすようにしている。感動ある介護は、利用者・家族のみが介護の提供・サービスの提供を受けて感動するだけでなく、介護を提供・サービスを提供をする職員も利用者・家族と共に喜怒哀楽を感じながら提供することができるようにと考え、実践につなげるように取り組んでいる。フロアー会議の機会等には、理念に基づいたケアの実践ができるように理念を振り返る機会を持っている。会議の中では、業務内容の検討や話し合いだけでなく、利用者のケアや状況についても話し合う機会を持ち、理念の実現に向けた取り組みを行っている。</p>	<p>感動ある介護は、利用者一人ひとりを十分に知りケアの提供を行っていくことが必要であると考えられるため、今後も日々のケアや会議の席で理念に基づいたケアの提供や浸透が図れるように話し合いを繰り返し、振り返ることを継続することが望ましい。</p>
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>自治会長を通じての交流や近隣ボランティアの受け入れ等を積極的に行っております。</p>	<p>自治会に加入し自治会長を通して地域と事業所との連携を持ちながら、近隣のボランティアの受け入れを行っている。ハーモニカのボランティアには継続的に来訪してもらい交流が続いている。地域の学校との交流は進んでいないが、近隣の公民館で開催される催し物や小学校の運動会などは利用者の希望や状態を踏まえてできる限り参加し交流するように取り組んでいる。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>『子供110番』の登録やAED設置の案内を玄関に掲示する事により近隣の方のご利用を促進しております。</p>	/	/

4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>基本的に偶数月の第一土曜日に開催しており、多数のご意見を頂戴し活用させて頂いております。</p>	<p>定期的に会議を開催している。利用者代表、家族代表者、自治会長、地域包括支援センター職員の方に参加してもらっている。会議では事業所の活動報告・活動内容の評価を行い、参加メンバーより助言や要望を聴取し運営やサービスに活かすようにしている。行政指定の議事録を作成し会議の内容については、年1回報告が行われている。</p>	<p>運営推進会議で今後は事業所の状況報告だけでなく、参加メンバーの方への事業所の機能を活かした情報の提供の機会とするなど、会議の内容の充実を図る取り組みが望ましい。また、事業所の特色を生かし参加メンバーへの還元を行うことで事業所をより深く理解してもらえるような取り組みが望ましい。</p>
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営上で困った事等がある時には常に相談させて頂いております。</p>	<p>できる限り行政の担当窓口に向いて書類提出や相談を行うようにし、連携や協力関係が構築できるように取り組んでいる。東淀川区グループホーム連絡会が昨年より4カ月に1回開催されるようになり、参加することにより地域の事業所や地域包括支援センターとの交流を持つ機会となっている。開催当初は地域包括支援センターが中心となり連絡会を開催していたが、今後は事業所が自主運営を行い開催していく予定である。また連絡会で講師を招いての講習会を開催することも検討しており、グループホームでの課題を事業所全体で解決できるように取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>社内・外研修等にて職員への周知徹底を図っております。</p>	<p>社内研修や外部研修を受講し「身体拘束をしないケアの実践」の周知徹底ができるように取り組んでいる。大阪府で作成された「大阪府身体拘束ゼロ推進標準マニュアル」を使用しフロア毎に研修を行い周知徹底を図っている。実際のケアの現場で見られた言葉や態度の中で拘束につながりそうな事例については、日々のフロアミーティングの中で話し合い、認識していくように取り組んでいる。</p>	<p>計画的に研修の機会を持ち周知徹底を図る取り組みの継続が望ましい。また日々のケアの中で言葉や態度による拘束につながりそうな場面や事例についても常に職員同士で注意を払い、理解を深めていく取り組みも望ましい。</p>

7	<p>○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>上記同様に職員への周知徹底を図っております。</p>		
8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>各会議を通じて学ぶ機会を設けております。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>その都度時間を掛け、誤解のない様にご説明を行っております。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議や家族会の場、面会時等にお聞きした事は反映する様にしております。</p>	<p>利用者・家族の方に運営推進会議に参加してもらっており、参加の機会に意見や要望を言ってもらったり、家族会も家族からの意見や要望が出せる機会となっている。利用者個々の希望や要望が多く、運営やサービス全体に対する意見や希望、苦情はない。毎月家族へご利用者の状況が分かってもらえるように写真と文書で近況報告を行い、意見や要望を出してもらいやすいようにしている。また「ゆうとぴ庵大阪・淡路通信」は写真を使い分かりやすく作成し、事業所での活動状況が理解してもらえるように家族に配布し報告している。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>各会議にて意見・提案を聞く場を設け、常に改善に向けての取り組みをしている。</p>	<p>食事・危機管理・生活の各委員会は毎月1回会議の機会を持っており、業務や運営等に関しての意見や提案が委員会を通して出される他、各フロア会議の席でも職員からの意見や提案が出される機会となっている。夏祭りなど大きな事業所でのイベントの後の集まりの機会などにも意見や要望が出されることがある。</p>

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各職員のスキルアップや資格取得に伴う手当等の設定にて就業環境の改善に努めております。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画に基づき全職員対象に内部研修を行っております。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>昨年3月に立ち上がりました区内グループホーム連絡会を通じて更に取り組強化を考えております。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居相談時から本人様との面談等を通じた情報収集により関係づくりに努めております。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>上記同様に対応しております。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>様々な専門機関との連携を図る事により対応出来る様に努めております。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様の思いに近づき共感し合える関係づくりをこれからも築いていきたいと考えております。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族様の来庵時には入居者様の状況等をお伝えする事により情報の共有を図る様に努めております。</p>		

20	8	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族様との連携により、ホームの生活にも馴染める様に段階的な取組等を行っております。</p>	<p>友人や知人の来訪があれば、居室や談話室、テラスなど希望の場所で気持ちよく面会ができるように配慮している。家族の理解と協力を得て馴染みの関係が継続できるように支援するようにしている。家族の協力を得て個別の外出もできるように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員の関わり方により、その人らしく生活して頂ける様に努めております。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>当庵を退居されてからでも相談や出来る限りの支援は行っており、今後も継続したいと考えております。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いやり意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時のアセスメントや観察等によりホームでの生活で反映出来る様、対応させて頂いております。</p>	<p>入居時のアセスメントや、日々利用者に関わる中で利用者が何気なく言われた言葉や表情から、利用者の思いや意向を把握するようにしている。利用者自ら思いや意向・希望を言うことが少なくなっているため、職員から利用者に声かけを十分に行うように配慮し、思いや意向・希望を表出しやすいように配慮している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>家族様や親戚の方等より情報を頂いたり、各機関各サマリー等を活用して把握しております。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>体調変化や水分摂取等の記録により現状の把握に努めております。</p>		

26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人様やご家族様の希望をプランに反映し、モニタリングでの評価を毎月行っております。</p>	<p>入居時の面談で得られた情報をフェースシート・発症経過シート等で整理・アセスメントを行い、初期の計画を策定している。計画が実施されているかをケア実施表で日々確認を行っている。毎月モニタリングを実施し、3カ月に1回計画の見直しを行い利用者家族に同意を得ている。</p>	<p>ケア実施表で計画に沿ってケアの提供がなされていることが確認できるが、今後はケアの提供がなされての利用者の変化や表情など、利用者の個別ケアの充実へ向けての取り組みに活かすために記録の充実を図ることが望まれる。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>各記録や会議の活用により行っております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医療機関への通院や介護用品の一時使用や情報提供等の取組を行っております。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会主催のふれあい喫茶参加や図書館の利用、またボランティア受入等に取り組んでおります。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>往診及び通院時の対応等、本人及びご家族様の希望に沿った支援を行っております。</p>	<p>利用者家族の希望するかかりつけ医への受診ができるように支援しているが、多くの方は協力医療機関の往診を受け、適切な医療を受けることができるように支援している。病院への受診が必要な場合には、車で職員が送迎を行い、普段の状況等を医療機関に情報提供するようにし、医療機関の受診時は家族の協力を得るようにしている。入院された場合には、面会等に行き関係継続と身体状況を把握するようにしている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>訪問看護師との連携により適切な支援を行っております。</p>		

32	<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時は病院の医療連携室や相談員との情報交換により早期退院に向け対応しております。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前と契約時には家族様に当庵の方針を説明し同意を頂いております。</p>	<p>重度化や終末期への対応・方針については、契約時より説明し同意を得るようにしている。事業所で通院や往診で対応できる医療依存度であればグループホームでの継続利用をしてもらえるように支援している。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルや定期的な研修により対応しております。</p>	
35	13	<p>○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練実施や地域の協力体制の確保等に取り組んでおります。</p>	<p>年2回は、避難誘導訓練を実施している。訓練は利用者の方にも参加してもらい昼夜想定で実施している。消防署の来訪での訓練時には、消火訓練も行っている。また、地震を想定した研修・訓練も消防署に来訪してもらい実施している。隣接するタクシー会社とも訓練を実施し、協力体制が整えられている。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人情報の管理の徹底や職員の雇用契約時に誓約書を交わしております。</p>	<p>排泄介助については、特に利用者一人ひとりに対してプライバシーや羞恥心に配慮したケアの提供ができるように、周知徹底を図っている。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご本人様の意向に沿い出来る限り自己決定して頂ける環境作りを行っております。</p>	

38	<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>上記同様に取り組んでおります。</p>		
39	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>本人の希望に沿って理髪店に行ったり化粧品類等を購入しに行く等の取り組みを行っております。</p>		
40	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>皆様の希望や好みを出来る限りメニューに反映する等して取り組んでおります。</p>	<p>各フロアで調理を行っている。現在、刻みからペースト食など各フロアでの利用者の個別の状況に応じて提供し、安全に美味しく食べてもらえるようにしている。近隣の回転ずしなどで外食を楽しんだり、出前を取ったりと食事が楽しみとなるような取り組みも行っている。</p>	
41	<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>カロリーや栄養バランスに配慮した献立を提供し、個々に応じた形での提供を行っております。</p>		
42	<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後のうがい・歯磨きを行い、週1回の歯科往診等を行っております。</p>		
43	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定時の声掛けやトイレ誘導の取り組み等を行っております。</p>	<p>利用者一人ひとりの状況や羞恥心・プライバシーを考え、トイレやポータブルトイレ使用時のプライバシーの確保には十分に配慮し検討を重ねた対応を行うようにしている。</p>	

44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取量や排便管理を行い、乳性飲料を飲んで頂いたり運動を行う等で対応しております。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ひとり一人の希望に応じ対応しております。</p>	<p>利用者の希望に応じて入浴ができるように支援している。ADLの低下により2人介助で入浴していただくこともある。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼寝の時間を設ける等個々の状態に合わせた対応を行っております。</p>		
47		<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方薬の副作用や飲み方等は毎日、毎回注意して対応しております。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ひとり一人の趣味趣向に合わせ、毎日楽しく過ごせる取組を行っております。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>図書館の利用やドライブ、また定期的に自宅へ戻られたり等、外出支援に取り組んでおります。</p>	<p>近隣の図書館や買い物など利用者の希望により個別の外出が楽しめるように支援している。家族の理解と協力を得て自宅へ帰ることも支援している。気候が良い時期には、テラスでお茶を飲んだりする機会も持つようにしている。以前は淀川の河川敷への散歩も行っていたが、高齢化・ADLの低下により周辺の散歩になっている。</p>	

50	<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物を希望される時等は一緒に行く様にして対応しております。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族様からの電話を取り次いだり、入居者様から希望があれば支援しております。</p>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一人ひとりぶ対しゆとりのある雰囲気づくりに取組んでおります。</p>	<p>窓からの眺望もよく採光にも恵まれゆったりとしたスペースが確保され、落ち着きのある共有空間は清潔で機能的な設えになっており、安心して過ごせる環境である。行事の写真や飾りつけなど季節感が感じられ家庭的な雰囲気作りに工夫されている。フローア以外に共用空間もあり、イベントや個人のくつろぐスペースとなっている。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>談話室でのテーブル位置やテラスを自由に使用して頂く等工夫しております。</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みある持ち物の持ち込み等の支援を行っております。</p>	<p>居室には、使い慣れた馴染みの家具や道具が持ち込まれ、環境の変化によるダメージの軽減に努めている。また、写真や思い出の品などが飾られ、その人らしい落ち着ける居室作りを心がけている。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>危機管理委員会を中心に安全な環境づくりに取組んでおります。</p>		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない